

コムニズム往來

No. 10

発行所・尼崎市
水堂榎木20、榎
木荘・今井方、

コムニ 好き者会

月刊キヌツ
名
旧 関西読者会

送料共(切手可) 1部 30円



キヌツの 労働―下山弘至

第10号

イヌフエルには、これが共同体だ、といえるものはないと言えませぬ。キヌツのメンバーにとっても都市生活は存在し、資力のある者が都市に生活するというかんじでせぬ。創始者たちには、キヌツとはより困難な生活で、また意志強固な者が居る所であったのに、今はキヌツの生活の方が困難がすくないといつのが、キヌツに住む人々の意見です。共同生活の利点である「団結」とは「ばん楽な道」というわけでは、生活にかけている時間的量は多くない。労働が先行し、「労働することか生きていること」という考えが真盤になっているからです。しかし、その労働も質より量的な、イヤ時間でしか

と、その飼育する牛などのための食料を収穫するものこそ真の幸福という、フィンランドの伝説のごとくである。それは聖書への回帰であり、支配階層を存在させんが為の倫理ではない。人はたしかに平等ではない。それを平等という名によって規制はじめた時、平均的な水準を生させ、大衆支配という名の主人不在のファシズムを形成させた。これは、平等を叫ぶ人々自身のエリート化を増加させるだけである。なぜなら「労働」とは、人間が自立する原動力という考え方自身にある肉体諸歌と、強者崇拜がとうぜんのごとく前面に押しださざるからである。

文化としての 共同体

はからないので、たとえば、よく労働に精進し勤勉な者は、それだけ多くの時間を仕事に費やすことになる。彼を人々は称賛するが、それはもっと多くの労働が彼にかせられるだけである。だから、労働が生活自身の一部ではあっても労働が目的ではない、という考えはキヌツには存在しえない。それには、自らが生みだしていく文化」というものがない。あるのは観客側という形の文化享受である。

今、キヌツが一つのまかりかどに來ていることはたしかです。多くの人はそのキヌツの子供たちに希望を持っています。しかし、キヌツ者の人間は、自分の域を守ることに精一杯ということが多く、魅力ある人間がとぼしいのはどうしたことでしょう。又、子供たちにしても意欲というにはほど遠い、精力のある児童はみうけられませぬ。子供だからそんなのかも知れませぬ。高学年になるとだいたいがよく働く人間であることはたしかです。しかし、労働のあとに何を彼らは、充実として持っているのでしょうか？ 労働生活というのがそれほどに理想的な

「労働」という名の神

キヌツにおける生活とは、幸福とは土を耕し種をまき、妻と子供

備北共同体ワーク・キャンプ

募集

【期間】
1期 3月1日～8日
2期 3月9日～15日
3期 3月16日～23日
4期 3月24日～31日

【参加しようとする人は...】

下記の連絡先へ、参加したい

期間を指定して 申しこんで下さい(1期間大体10名前後に限定)

大阪市東成区玉津二丁目東成玉津郵便局留 備北百人委員会宛
備北共同体運動百人委員会ワークキャンプ実行委員会

【キヌツフレーズ】
冬の中に 春のいぶきを
見つけよう!

【仕事の内容】
シイタケの原木切り、植菌
ニフトリ小屋作り、
崩 塗、 柵 作り、